不整脈に対するデバイス埋め込み術クリニカルパス　　様

	手術前日　／	手術当日　／	術後1日目　／	術後2日目　／	術後3日目　／	術後4日目　／	術後5日目(パス終了日)　／
観察	モニターを装着し脈拍の確認を行います。	手術後、熱の有無・傷の出血・痛み・腫れを観察していきます 術後モニター装着をし脈拍の異常（動悸、脈の乱れ）の有無を観察してきます					
安静	医師の指示に従ってください	医師の指示に従ってください 安静時間は看護師から説明があります。					
		患肢は手術後肩より上に手を挙げることはできません(手術後約3カ月間は挙上できません)					
食事	食事は食べられます。 内容は医師の指示により異なります。	当日の食事については看護師から前日に説明があります	食事は食べられます。 内容は医師の指示により異なります。				
清潔	シャワーを浴びることが出来ます	洗面のみ可能です	体をふくことができます			シャワーを浴びることが出来ます （入浴は術後1週間後からできます）	
排泄	病棟のトイレを使用して下さい						
処置診察			医師が圧迫ガーゼを外します ペースメーカー/除細動器の作動状況を確認します	ペースメーカー/除細動器の作動状況を確認します			退院日までに手術部のテープを外します
	入院後より 心電図モニターをつけます						観察が必要であれば継続して 心電図モニターをつけます
検査	心電図・レントゲン検査を行う場合があります	手術後レントゲン撮影します			採血・心電図・レントゲンを行う場合があります		
薬物療法 点滴	左手に点滴の針を入れます	補液と抗生剤の点滴をします 必要な際には手術中に鎮静剤を使います ※感染予防の為に抗生剤の点滴を1日2回行います.					
薬物療法 内服	持参薬を提出してください ※中止薬がある場合はお知らせします	利尿剤/降血糖薬/インスリンがある場合医師の指示に従ってください ※傷の痛みがある時の鎮痛剤については医師・看護師に確認してください					
説明指導	病棟内の御案内をします	※手術へ行く前に以下のものを外します 眼鏡・コンタクト・時計・ピアス義歯・指輪・化粧・ネックレス・ヘアピン・靴下・マニキュア・補聴器	自己脈測定の指導を患者様・御家族の方に行います（退院後も1日1回1分間、自己脈測定を安静時に実施してください） 傷の観察方法を指導します（傷の出血、赤み・腫れ・熱感・痛み・膿の有無）				
	医師・看護師が手術について説明をします		・退院後の注意点についてペースメーカーパンフレットを用いて患者様・御家族の方に説明を行います(携帯電話の使用方法、体脂肪測定のできる体重計の使用、家電製品のIH調理器具、盗難防止の設備（EAS）ICカードの改札システム、スマートキーシステム、電気自動車の急速充電器等患者の生活に関係する内容の確認)				退院後の内服薬について 説明があります ペースメーカー手帳を渡します 退院療養計画書に沿って退院後の注意事項を説明します
	手術に必要な書類の確認をします						
	手術時の服装について説明します	手術に行く前にトイレを済ませ病衣T字帯に着替えます		医療相談室への案内と対象者の方には遠隔モニタリングについて説明します			
	ペースメーカーパンフレットを使用して説明します	※手術中看護師も居ますいつでも声をかけてください	ペースメーカーを挿入した側の腕は術後約3ヶ月間は肩より上にあげないようにしてください。				
		手術後医師から手術結果について説明があります					
目標	手術の方法・合併症が分かり不安なく手術に臨む事ができる	疼痛がコントロールされ合併症(感染・リードの外れ・断線)がない・脈拍の異常がない					
			脈拍の異常（動悸、脈の乱れ）がない 自己脈測定ができ退院後の生活の注意点が分かる				
							ペースメーカーの作動状況に問題がなく合併症がみられない ペースメーカーパンフレットの内容が理解でき退院後の注意点が分かる

病状・経過によってはスケジュール通りにならない場合があります

2004年4月作成（2026 年3月改訂）パス委員会承認　聖隷浜松病院　A3病棟